

第2章 私たちの目指す空間デザインとは

(5) 港側からの駅南側のイメージ

視点場：新県庁舎

視対象：新駅舎、駅ビルなど



港側から長崎駅周辺地区を望むと、頭端駅としての特長的な駅舎南側が望めます。
 シンボリックな長崎駅舎と調和するように、JR駅ビルや周辺建物も高さや色調等に配慮されています。

【主な心得】

- 南側の駅舎デザインは、元船エリアからの見え方に十分配慮します。【心得 ・ ・ 】
- 元船エリアと駅周辺エリアとの結びつきを高める歩行動線を確保します。【心得 ・ 】
- 長崎にふさわしい素材を用いたり、周辺環境に配慮した空間とします。【心得 ・ 】

港側から駅南側のイメージ図

このイラストはあくまでもイメージです。

(6) 新幹線ホームからの長崎港を見たイメージ

視点場：新幹線ホーム上

視対象：長崎港、鍋冠山など



長崎駅新幹線ホームから南側方面を望むと、海や山などの特長的な風景を眺めることができます。新県庁や新県警本部等は、駅ホームからの眺望を確保するように配置されています。

【主な心得】

- 長崎駅は、特長的な長崎の地形の焦点にふさわしい、シンボリックな内部空間を持つ駅舎デザインとします。【心得 Ⅰ】
- 駅ホームから長崎港、鍋冠山等が望めるように建物の建て方に配慮します。【心得 Ⅱ】
- 長崎駅ホームでは、長崎らしい素材や技術を用いたり、強い陽射しを避けて、海からの風を感じられるように配慮した空間とします【心得 Ⅲ】

駅新幹線ホームから南側を望むイメージ図

このイラストはあくまでもイメージです。